

ISSN 0912-778X

# 穂別町立博物館館報

第19号

平成13（2001）年度版

穂別町立博物館

## 目 次

●	沿	革	-----	( p . 1 )
●	施 設 の 概 要		-----	( p . 4 )
●	施 設 平 面 図		-----	( p . 4 )
●	展 示 活 動		-----	( p . 5 )
●	広 報 活 動		-----	( p . 6 )
●	普 及 教 育 活 動		-----	( p . 7 )
●	収 蔵 資 料 概 要		-----	( p . 10 )
●	資 料 収 集 保 存 活 動		-----	( p . 10 )
●	調 査 研 究 活 動		-----	( p . 12 )
●	運	営	-----	( p . 15 )

## ●沿 革

「この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されたものである。」

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石(自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史(人文)」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物(化石)を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

### I 「建設の目的」と「展示更新」の基本的考え方

#### 〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

(昭和55(1980)年11月26日)

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

#### 〈展示更新の基本的考え方〉

(平成2(1990)年6月27日)

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。』

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

## Ⅱ 沿革

\*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」あるいは「ホベツアラキリュウ」などの使い分けを行っているが、以下に従っている。

- ・「長頸竜」：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式。
- ・「首長竜」：分類学上の名称としては適切ではないが、この場合「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・「クビナガリュウ」：正式には「蛇頸竜目」または「長頸竜目」あるいはそのカタカナ綴りにするべきであるが、通俗名として普及しているために本の題名として用いられたのであるから、この場合固有名称として使用。
- ・「ホベツアラキリュウ」：昭和52(1977)年7月5～8日に「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称。

### 昭和50(1975)年

6月：穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏（穂別町在住）。

### 昭和51(1976)年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定依頼。

### 昭和52(1977)年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認。  
7月5～8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

### 昭和53(1978)年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始。  
11月：穂別町立郷土資料館、開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）。

### 昭和54(1979)年

5月：長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定。

### 昭和55(1980)年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足。

### 昭和56(1981)年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更。

### 昭和56(1981)年

7月～12月：博物館建設工事。  
9月1日：鈴木 茂学芸員就任（～昭和60年3月31日）。

### 昭和57(1982)年

1月16日：長頸竜復元作業開始。  
3月～6月：博物館展示工事。  
7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）。  
8月26日：「博物館協議会」発足。  
11月1日：北海道博物館協会加入。  
12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開。  
12月19日～1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」。

### 昭和58(1983)年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）。  
3月28日：「博物館協力会」設立。  
4月1日：日本博物館協会加入。  
4月28日：菅原康次（第二代）館長就任。  
7月22日～8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」。  
8月1日：全国科学博物館協議会加入。  
11月1日～3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」。

### 昭和59(1984)年

2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊。  
3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始。  
6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成。  
11月1日～4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」。  
12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任。

### 昭和60(1985)年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始。  
5月1日：地徳 力学芸員就任（～平成11年3月31日）。  
11月1日～10日：特別展（第2回）「北海道一億年」。

### 昭和61(1986)年

10月21日～11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」。

### 昭和62(1987)年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）。  
7月28日～8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」。

昭和63(1988)年

7月17日：第三展示室（保存庫）完成。  
8月23日～9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」。  
10月6日：今 幸太郎（第五代）館長就任（専任）。

平成元(1989)年

6月30日：仲谷 英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表。  
7月18日～8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」。  
9月29日～10月6日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティーレル古生物学博物館に派遣。

平成2(1990)年

7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館。  
8月18日～9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」。  
9月3日～5日：レイド、M. G. 氏（アルバータ州ティーレル古生物学博物館）来館。  
12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）。

平成3(1991)年

4月1日：佐藤 稔（第七代）館長就任。  
4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業。

平成4(1992)年

2月1日：展示更新工事開始。  
4月23日～25日：カーリー、P. J. 氏（アルバータ州ティーレル古生物学博物館）来館。  
4月29日：展示更新完了、一般公開再開。

平成6(1994)年

4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）。  
4月1日：川上 源太郎学芸員就任（～平成10年3月31日）。

平成7(1995)年

7月15日～9月12日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティーレル古生物学博物館に派遣、研修。  
8月12日：かせき学習館完成。

平成8(1996)年

7月27日～28日：'96北海道化石サミット開催（穂別町民センター）。  
10月6日：大江美津夫（第九代）館長就任。

平成9(1997)年

7月6日、7月10日～8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展（第8回特別展）。

平成10(1998)年

4月1日：櫻井和彦学芸員就任（現任）。  
6月11日：星 功（第十代）館長就任。  
8月11日～8月31日：特別展（第9回）「地球物語り（地質学普及書の近代史）」。

平成11(1999)年

1月1日：山田 正（第十一代）館長就任（現任）。  
5月29日：入館者30万人突破記念事業。  
8月1日～8月31日：特別展（第10回）「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」。  
10月5日～11月28日：特別展（第11回）「穂別の自然」。

平成12(2000)年

8月1日～8月31日、9月14日～10月1日：特別展（第12回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」。  
9月14日～10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」

平成13(2001)年

8月1日～8月25日：特別展（第13回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」

## ●施設の概要

### 【位 置】

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

### 【穂別町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常設展示室	372.88m <sup>2</sup>
特別展示室	99.08m <sup>2</sup>
収蔵庫	86.56m <sup>2</sup>
事務室	40.50m <sup>2</sup>
研究室	31.50m <sup>2</sup>
整理室	29.92m <sup>2</sup>
学習展示室	184.75m <sup>2</sup>
書庫	35.05m <sup>2</sup>
共用部門	219.76m <sup>2</sup>

〔工 期〕

昭和56年度～57年度

〔総事業費〕

3億7,276万5,000円

〔展示更新〕

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作

〔更新事業費〕

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

### 【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事務室	56.70m <sup>2</sup>
作業室	56.70m <sup>2</sup>
書庫	14.04m <sup>2</sup>
レプリカ室	12.15m <sup>2</sup>
処理室	12.15m <sup>2</sup>
展示物保管庫	162.00m <sup>2</sup>
共用部門	12.15m <sup>2</sup>

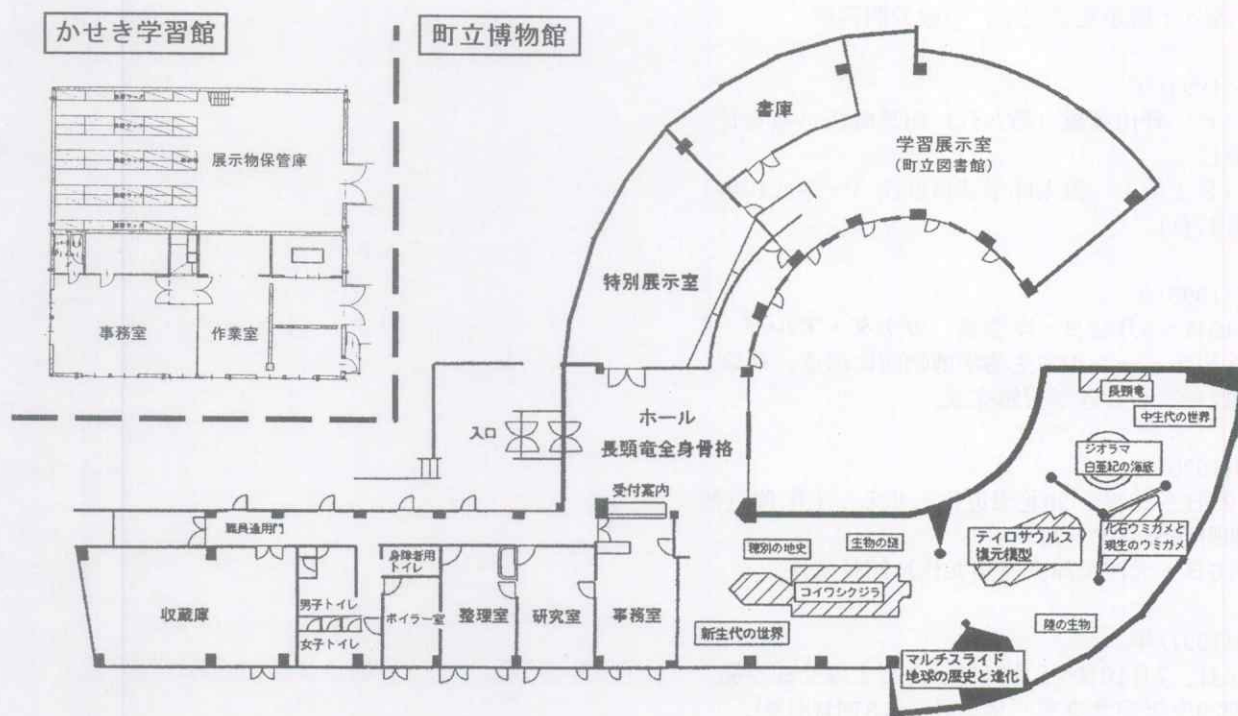
〔工 期〕

平成7年度

〔総事業費〕

5,709万2,900円（消費税込み）

## ●施設平面図



## ● 展示活動

### I 常設展示

穂別町内から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

#### 【常設展示の変更】

平成13(2001)年5月18日：リクガメ化石*Anomalochelys angulata* (HMG-1056) のレプリカを展示

平成13(2001)年12月27日：カキ化石床 (HMG-1069) を展示

平成14(2002)年2月22日：アンモナイト化石 (HMG-140・HMG-841) を展示

平成14(2002)年3月29日：海底ジオラマ周りの化石資料の配置転換、アンモナイト化石の配置転換

#### 【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	7	236
		爬虫類 (長頸竜10*・モササウルス8*・カメ6*・他3)	27	
		哺乳類 (クジラ8・デスモスチルス2・他9*)	19	
	その他動物	軟体動物 (頭足類89・腹足類30・斧足類38・他4)	161	
		その他 (甲殻類7・その他9)	16	
	植物	4		
	生痕	2		
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	11
		哺乳類 (クジラ4・鯨類1)	5	
	その他動物	軟体動物 (頭足類) 1・甲殻類1	2	
	植物	1		
復元模型	脊椎動物	爬虫類 (長頸竜1・モササウルス1・カメ1)	3	3
その他	岩石標本等		21	21
合計				271

\*：レプリカ含む

(2002年3月31日現在)

### II 特別展示

【穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-】平成13(2001)年8月1日～8月25日

ホベツアラキリュウ化石の発見がきっかけとなって建設されて以来の博物館の歴史を、当時の博物館活動の写真や広報紙「ホッピーだより」で振り返る。開館20周年を迎える2002年を前に開催した。

### III 年間入館者数

分類		平成9年度 (1997)	平成10年度 (1998)	平成11年度 (1999)	平成12年度 (2000)	平成13年度 (2001)
個人	一般	12,384	7,726	8,591	11,281	9,911
	学生	4,618	2,899	3,190	4,278	3,832
団体	一般	1,685	1,017	785	1,112	1,143
	学生	2,759	1,979	2,306	2,221	2,403
計		21,446	13,621	14,872	18,892	17,289

学生：小・中・高校生

(単位：人)

団体：10名以上

#### IV 特定入館日

##### 【学校週5日制関連事業】

学校週5日制実施にあわせて町民無料観覧を実施。毎月第二・第四土曜日を町内の児童生徒無料観覧の日とする。

##### 【博物館開館記念日関連事業】

7月20日の開館記念日に関連して、平成13(2001)年7月20日(金)～7月26日(木)を町民無料観覧の日とした。

##### 【博物館特定入館日他に伴う町民無料入館】

実施日	行事名	一般	学生	計
'01.4.1～ '02.3.31	学校週5日制 (年24回実施)	10	72	82
7.20～26	博物館開館記念日 (7日間)	37	22	59
9.15	敬老の日	7	3	10
11.3	文化の日	5	9	14
11.23	勤労感謝の日	7	2	9
'02.1.14	成人の日	1	0	1
計	延べ35日	67	108	175

学生：小・中・高校生

(単位：人)

#### ●広報活動

##### 【ホッピーだより (博物館広報紙)】

- 197号<平成13(2001)年4月>：「博物館、たんけん！」
- 198号<平成13(2001)年5月>：「博物館の活動(1・2)、-化石採集とクリーニング-」
- 199号<平成13(2001)年6月>：「博物館の活動(3)、6月の行事案内」
- 200号<平成13(2001)年7月>：「通算200号達成 -夏の普及事業-」
- 201号<平成13(2001)年8月>：「2001年特別展 -穂別町立博物館の20年-」
- 202号<平成13(2001)年9月>：「博物館の活動(4) -調査・研究-」
- 203号<平成13(2001)年10月>：「博物館の活動(5) -展示-」
- 204号<平成13(2001)年11月>：「秋の野外調査 -秋の普及事業の紹介-」
- 205号<平成13(2001)年12月>：「博物館の活動(6) -普及事業-」
- 206号<平成14(2002)年1月>：「巨大アンモナイト-採集から展示まで-」
- 207号<平成14(2002)年2月>：「冬の星座-2月の星空-」
- 208号<平成14(2002)年3月>：「平成13年度の活動紹介(2001年4月～2002年2月)」

##### 【博物館協会等機関紙】

- 日胆地区博物館等連絡協議会ニュース
- 第10号<平成14年(2002)年3月>：「巨大アンモナイト-採集から展示まで-」(ホッピーだよりNo.206より)

##### 【その他機関紙等】

- 文化情報(北海道文化財保護協会 発行)
- 第231号<平成13(2001)年6月30日>：市町村指定文化財60「穂別町指定有形文化財 ホバツアラキリュウ化石骨」

##### 【新聞掲載】

- 北海道新聞生活欄「ネーチャー通信」
- No.71<平成13(2001)年4月13日>：「星空観測会の後で-オリオン座見上げる子-」
- No.79<平成13(2001)年6月15日>：「鳥-空を飛ぶために生まれた-」
- No.87<平成13(2001)年8月17日>：「穂別の今、昔-森や川を歩き古里学ぶ-」
- No.95<平成13(2001)年10月26日>：「化石採集-特大アンモナイト発見-」
- No.103<平成14(2002)年1月4日>：「雪の上の足跡-できたばかりの“化石”-」
- No.110<平成14(2002)年3月8日>：「冬の星座観測会-夢中になるのは大人たち-」



## ●普及教育活動

### I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

- 平成13(2001)年4月28日  
「春の森の探検」：早春の森の観察会（小8、大2）（「土よう日の集い」と共催）
- 平成13(2001)年5月13日  
ほべつの森の観察会(1)「春の野の花ウォッチング」(大2)
- 平成13(2001)年6月9日  
「ホッピークラブ」：くんせい作り、展示見学ほか（小17、大2）
- 平成13(2001)年6月17日  
ほべつの森の観察会(2)「新緑の森へ行こう」(小4、大4)
- 平成13(2001)年6月23日  
「ホッピー探検隊2001」：自然観察と化石採集(小13、大3)（「土よう日の集い」と共催）
- 平成13(2001)年7月20日  
ほべつの森の観察会(3)「夏の虫」(小17、大5)
- 平成13(2001)年7月27日  
「博物館めぐりバスツアー」：苫小牧市科学センター・苫小牧市博物館の見学(小33、大3)
- 平成13(2001)年8月26日  
ほべつの森の観察会(4)「すぎゆく夏の森へ行こう」(大3)
- 平成13(2001)年9月9日  
ほべつの森の観察会(5)「森のきのこ」(大7)
- 平成13(2001)年10月14日  
ほべつの森の観察会(6)「紅葉の森へ行こう」(小12、大2)
- 平成13(2001)年11月1日～3日  
学習館収蔵庫の公開：人文系資料の公開(小95、大75)
- 平成13(2001)年11月10日  
「化石クリーニングとレプリカ作成」：化石のクリーニングとレプリカ作成、展示見学(小16、大4)（「土よう日の集い」と共催）
- 平成14(2002)年1月11日  
「冬の星座観察会」：星座の観察(小13、大13)

### II 町内団体の利用と対応

対応したものは「 」で内容を示してある。  
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学。

#### 【町内学校・教育関係団体】

- 平成13(2001)年4月：  
21日：穂別中学校1～3年「人文系資料見学」(小86、大9)
- 平成13(2001)年5月：  
16日：富内季節保育所「展示見学」(幼児7、大2)  
19日：穂別中学校1年(町内ウォークラリー)「展示見学」(小25、大1)  
30日：和泉小学校「展示見学」(全校生徒：小16、大8)
- 平成13(2001)年6月：  
2日：穂別中学校(選択理科)「展示見学」(小10、大1)  
6日：さくら保育園(幼児11、大3)  
12日：町教研(理科)「化石採集」(大9)  
27日：稲里小学校「校庭の岩石標本の解説(ラベル設置への提案)」(大4)  
30日：穂別高校(小47、大1)
- 平成13(2001)年7月：  
6日：穂別中学校(小30、大1)  
7日：穂別中学校(小1、大1)  
7日：穂別高校(小23、大1)  
10日：穂別高校(総合学習)「化石採集」(小29、大2)  
19日：仁和中学校2年「職場体験」(小1)
- 平成13(2001)年8月：  
24日：仁和中学校(小3、大2)
- 平成13(2001)年9月：  
4日：穂別中学校3年(総合の時間)「展示見学」(小1)  
6日：穂別高校(総合学習)「展示見学・化石採集」(小23、大2)  
7日：さくら保育園(幼児19、大2)
- 平成13(2001)年10月：  
11日：穂別小学校6年(小学校理科)「展示見学・化石クリーニング」(小29、大5)  
11日：仁和中学校(小3、大1)  
20日：穂別中学校3年(総合の時間)「展示見学」(小1)
- 平成13(2001)年11月：  
16日：穂別中学校2年「職場体験」(小3)

21日：穂別中学校1年（NHK取材協力）「化石採集」（小25、大4）

平成14(2002)年3月：

12日：さくら保育園（幼児30、大4）

#### 【町内各種団体】

平成13(2001)年5月：

24日：農業委員会農業就業体験者受入（大2）

平成13(2001)年6月：

19日：地球体験館新人ガイド研修（大1）

28日：穂別誠和学園（大45）

平成13(2001)年8月：

30日：農業委員会農業就業体験者受入（大2）

平成13(2001)年9月：

16日：穂別町商工会青年部「ほべつ道民の森観察会」（小3、大6）

平成14(2002)年2月：

20日：地球体験館ガイド研修（大5）

### Ⅲ 町外団体の利用と対応

対応したものは「 」で内容を示してある。  
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学。

#### 【町外学校・教育関係団体】

平成13(2001)年4月：

21日：札幌市立北野小学校（下見）（大6）

29日：札幌市立新川中央小学校（下見）（大1）

平成13(2001)年5月：

12日：札幌市立屯田小学校（下見）（大5）

12日：札幌市立平和小学校（下見）（大3）

15日：札幌市立豊水小学校（下見）（大2）

23日：日高国立少年自然の家「展示見学」（大4）

平成13(2001)年6月：

4日：札幌市立真駒内曙中学校（小179、大10）

7日：札幌市立曙小学校「展示見学・化石採集」（小38、大4）

9日：札幌市立真駒内南小学校（下見）（大4）

19日：門別町立厚賀中学校（小28、大3）

20日：札幌市立北野中学校（小130、大15）

21日：北海道札幌平岸高校（小361、大17）

23日：門別町教育委員会チャレンジサークル（小38、大19）

27日：札幌市立屯田小学校（小132、大9）

28日：千歳市立桜木小学校（小73、大5）

平成13(2001)年7月：

3日：札幌市立八軒小学校（小104、大8）

4日：札幌市立幌東小学校（小46、大4）

4日：札幌市立澄川南小学校（小70、大5）

4日：札幌市立平和小学校（小84、大7）

5日：胆振管内高等学校初任者研修地域研修「展示見学」（大4）

5日：札幌市立上野幌西小学校（小80、大6）

5日：恵庭市立柏陽中学校（小114、大7）

5日：札幌市立駒岡小学校（小11、大3）

5日：札幌市立新川中央小学校（小95、大8）

10日：札幌市立真駒内南小学校（小88、大8）

11日：札幌市立東山小学校（小69、大6）

12日：札幌市立豊水小学校（小30、大8）

17日：日高町立日高小学校（小14、大3）

19日：門別町立富川中学校（小60、大5）

平成13(2001)年8月：

4日：千歳市北斗サッカースポーツ少年団（小42、大14）

5日：空知教育局社会教育主事他（大5）

8日：白老町のびのび自然塾（小10、大2）

19日：札幌市立羊ヶ丘中学校（小30、大2）

26日：千歳市村上進学塾（小77、大4）  
平成13(2001)年9月：  
11日：札幌市立福移小学校（小20、大4）  
13日：胆振教育局初任者研修地域研修（大18）  
24日：小樽市博物館友の会（小45、大3）  
平成13(2001)年10月：  
3日：神奈川県立川崎北高校（小110、大5）  
6日：新冠町明和緑の少年団（小26、大6）  
23日：胆振管内社会教育行政担当者研修会「自然観察会（ほべつ道民の森）」（大12）  
平成13(2001)年11月：  
4日：足寄動物化石博物館友の会「地質見学・展示見学」（小9、大4）  
6日：富川ひばり幼稚園（幼児39、大2）  
7日：富川ひばり幼稚園（幼児52、大2）  
8日：富川ひばり幼稚園（幼児52、大2）  
10日：札幌大学文化学部「展示見学」（大34）  
平成14(2002)年2月：  
8日：日胆地区博物館等連絡協議会役員会・館長会議（大13）

#### 【町外各種団体】

平成13(2001)年5月：  
12日：旭日町むつみ会（大22）  
平成13(2001)年6月：  
8日：STV恐竜展担当者「展示見学」（大2）  
27日：白石中央五福会（大29）  
平成13(2001)年7月：  
16日：宮城県大和町議会（大8）  
16日：清水町美蔓婦人部（大20）  
22日：東川町米原水穂地区市民委員会（大17）  
30日：西川寿大学老人会（大37）  
平成13(2001)年8月：  
4日：日高町自衛隊父兄会（大32）  
21日：胆振家畜保健所（大4）  
29日：北電札幌旧友会（下見）（大1）  
平成13(2001)年9月：  
7日：鷹栖町議会（大8）  
7日：NHK室蘭放送局「展示室の取材協力」（大3）  
24日：東野幌自治会健康クラブ（大27）  
29日：北電札幌旧友会（下見）（大1）  
平成13(2001)年10月：  
4日：北電札幌旧友会（大76）  
10日：福島町議会（大9）  
12日：胆振管内議会職員研修会（大10）

16日：胆振管内町村長会議研修会「化石剖出作業見学・展示見学」（大15）  
17日：北広島かえで寿会（大29）  
20日：NHK北海道ビジョン「展示室の取材協力」（大2）  
25日：道職員互助会札幌白石支部（下見）（大5）  
平成13(2001)年11月：  
11日：ウタリ協会胆振連合会（大26）  
13日：東胆振経済団体懇談会（大28）  
21日：経済産業省道産炭地域振興室（大2）  
20日：NHK札幌放送局「展示室の取材協力」（大4）  
24日：台湾原住民舞踊団（大21）  
平成14(2002)年2月：  
1日：胆振家畜保健所（大2）

●**収蔵資料概要（登録資料）**

【自然史系登録資料（HMG）】 1,069点

地質・化石資料

【自然系登録資料（HMB）】 78点

現生動植物資料

【人文系登録資料（HMC）】 3,727点

民俗・歴史資料

(2002. 3. 31. 現在)

●**資料収集保存活動**

(寄贈・採集資料は2001年1月～2002年3月分)

I 寄 贈

【自然史系資料】 20件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2001-001-1	アンモナイト他	9	阿部 利春
2001-001-2	アンモナイト	4	阿部 利春
2001-002	貝化石含有ノジュール	10	北山 和磨
2001-009	アンモナイト	1	千歳化石会
2001-010	アンモナイト	1	千歳化石会
2001-013	アンモナイト	1	笠巻 袈裟男
2001-014	化石含有ノジュール	1	河崎 元也
2001-020	貝化石含有ノジュール	1	村上 隆
2001-023	アンモナイト他	26	博物館協力会
2001-024	化石含有ノジュール	1	笠巻 袈裟男
2001-036	アンモナイト他	21	博物館協力会
2001-039	アンモナイト他	10	博物館協力会
2001-040	アンモナイト他	26	博物館協力会
2001-044	アンモナイト他	9	千歳化石会
2001-045	アンモナイト他	8	千歳化石会
2001-049	アンモナイト	1	狐塚 守
2001-050	アンモナイト他	7	千歳化石会
2002-001	イノセラムス	1	佐藤 稔
2002-002	イノセラムス	1	佐藤 稔
2002-005	二枚貝化石他	11	千歳化石会

【自然系資料】 1件

受入番号	資料名	点数
2002-003	現生生物標本（鳥類）	1

【人文系資料】 4件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2001-041	パール、スリングの玉、飼葉切ほか	38	鳴海 光男
2001-057	木工用縦引き鋸	1	狐塚 守
2001-058	石油ランプ	1	狐塚 守
2001-059	写真（博物館開館当時）	一式	村上 隆

II 採 集

【自然史系資料】 34件

受入番号	資料名	点数
2001-003	化石含有ノジュール	1
2001-004	アンモナイト等	28
2001-005	ノジュール	245
2001-006	岩石資料（函淵層群）	11
2001-011	岩石資料（上部蝦夷層群）	3
2001-012	珪化木	1
2001-016	アンモナイト他	2
2001-017	アンモナイト他	3
2001-018	ノジュール（方解石生成）	2
2001-019	生痕化石他	2
2001-025	アンモナイト他	6
2001-026	生痕化石他	2
2001-027	アンモナイト	1
2001-028	アンモナイト	1
2001-029	ノジュール	1
2001-030	カキ化石床	1
2001-031	岩石資料（化石含有）	1
2001-032	岩石資料（化石含有）	1
2001-033	植物化石	1
2001-034	アンモナイト	1
2001-035	アンモナイト他	29
2001-037	貝化石他	17
2001-038	貝化石含有ノジュール	1
2001-042	アンモナイト他	20
2001-043	イノセラムス	1
2001-046	アンモナイト	1
2001-047	生痕化石	1
2001-048	アンモナイト他	28
2001-051	アンモナイト他	2
2001-052	アンモナイト他	3
2001-053	岩石標本	1
2001-054	アンモナイト	1
2001-055	二枚貝他	5
2001-056	サンゴ他	6

【自然系資料】 3件

受入番号	資料名	点数
2001-007	現生生物標本（鳥類）	1
2001-021	現生生物標本（鳥類）	1
2001-022	現生生物標本（鳥類）	1

### Ⅲ 野外調査活動

### Ⅴ 資料の貸出

#### 【現地調査】 32回

4月：4日、5日、6日、7日、8日、19日、  
28日、29日  
5月：30日  
6月：2日、6日、9日、12日、13日、19日、  
21日、22日  
7月：7日、29日  
9月：5日、28日、29日  
10月：1日、2日、3日、4日、5日、7日、  
10日、12日、27日  
12月：2日  
資料収集15回、普及事業事前調査11回、  
その他調査7回 (重複)

### Ⅳ 新規登録資料

#### 【自然史系資料 (HMG)】 4件

登録番号	資料名	受入番号
HMG-1068	<i>Pachydesmoceras pachydiscoide</i>	2001-028
HMG-1069	<i>Crassostrea? sp.</i>	2001-030
HMG-1070	<i>Gaudryceras venustum</i>	2002-004
HMG-1071	<i>Gaudryceras venustum</i>	1996-005

平成8(1996)年5月11日～平成14(2002)年3月31日  
ウミガメ化石 (3点)：帝京平成大学 平山 廉  
博士  
平成8(1996)年8月1日～平成14(2002)年3月31日  
ウミガメ化石 (5点)：帝京平成大学 平山 廉  
博士  
平成9(1997)年4月1日～平成14(2002)年3月31日  
アンモナイト・イノセラムス (2点)：穂別地球  
体験館  
平成9(1997)年4月1日～平成14(2002)年3月31日  
自然系資料 (剥製、20点)：穂別町立穂別小学校  
平成9(1997)年6月27日～平成14(2002)年3月31日  
アンモナイト化石 (2点)：工業技術院地質調査  
所地質標本館 利光誠一博士  
平成13(2001)年4月6日～平成13(2001)年5月9日  
長頸竜の頭骨レプリカ (1点)：久慈琥珀博物館  
平成13(2001)年4月12日～平成13(2001)年4月30日  
サメ椎骨・歯 (2点)：千歳サケのふるさと館  
平成13(2001)年4月24日～平成13(2001)年5月5日  
アンモナイト他 (14点)：千歳サケのふるさと館  
平成13(2001)年5月3日～平成13(2001)年5月31日  
アイヌ関連写真帳 (1点)：小石川 武美  
平成13(2001)年7月4日～平成13(2001)年7月19日  
ホベツアラキリュウ全身復元骨格の写真 (1点)：  
小樽市博物館  
平成13(2001)年11月23日～平成13(2001)年11月29日  
展示用ケース (2点)：ウタリ協会穂別支部  
平成13(2001)年11月23日～平成13(2001)年11月29日  
人文系資料 (6点)：ウタリ協会穂別支部

I 脊椎動物化石の研究

【総論】

鈴木 茂(林原自然科学博物館学芸員, 穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

[1984] 穂別町立博物館研究報告、[1]、47-52。

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

[1990] 穂別町立博物館研究報告、[6]、37-35。

[1993] 日本地質学会第100年学術大会(東京) 夜間小集会口頭発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 一般発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 夜間小集会口頭発表

【デスモスチルス】

木村方一(北海道教育大学)教授に研究委託

公表論文・講演:

[1984] 穂別町立博物館研究報告、[1]、11-23。

[1984] 地団研専報、[28]、51-61。(松井 愈・山口昇一 共著)

[1985] 穂別町立博物館研究報告、[2]、51-62。

赤松守雄(北海道開拓記念館)学芸員に研究委託

公表論文・講演:

[1984] 地団研専報、[28]、63-68。

【クジラ】

木村方一(北海道教育大学)教授に研究委託

一島啓人(オタゴ大学大学院)氏に研究委託

公表論文・講演:

[1992] 穂別町立博物館研究報告、[9]、37-44。

[1994] The Island Arc、[3]、473-485。

[1994] The island Arc、[3]、486-492。

【ウミガメ】

平山 廉(帝京平成大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1985] 穂別町立博物館研究報告、[2]、17-30。(鈴木 茂 共著)

[1992] 穂別町立博物館研究報告、[8]、17-57。

[1992] 日本地質学会第99年学術大会(熊本)口頭発表

[1994] 地団研専報、[43]、17-24。(地徳 力 共著)

[1994] The Island Arc、[43]、270-284。

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 口頭発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 夜間小集会口頭発表

[1995] 日本地質学会第102年学術大会(広島) 口頭発表

[1996] 日本古生物学会報告・紀事、[184]、597-622。(地徳 力 共著)

【リクガメ】

平山 廉(帝京平成大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1998] 穂別町立博物館研究報告、[14]、1-6。(紀藤典夫・川上源太郎 共著)

[1998] 日本古生物学会例会(札幌)口頭発表

[2001] Russian Journal of Herpetology、[8]、127-138。(櫻井和彦・地徳 力・川上源太郎・紀藤典夫 共著)

【長頸竜】

仲谷英夫(香川大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1981] 日本地質学会第88年学術大会(東京)口頭発表

[1982] 日本地質学会第89年学術大会(新潟)口頭発表

[1982] 動物と自然、[12]、11-16。

[1984] 穂別町立博物館研究報告、[1]、37-40。

[1985] 穂別町立博物館研究報告、[2]、43-49。

[1989] 穂別町立博物館研究報告、[5]、43-48。

[1989] 日本古生物学会報告・紀事、[154]、96-116。

【モササウルス】

鈴木 茂(林原自然科学博物館学芸員, 穂別町立博物館元学芸員)氏が研究

公表論文・講演:

[1985] 穂別町立博物館研究報告、[2]、31-42。

[1985] 地学団体研究会専報、[30]、45-66。

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)が別資料の研究継続

公表論文・講演：

- [1987] 日本地質学会第94年学術大会(大阪)口頭発表
- [1990] 日本地質学会第97年学術大会(富山)口頭発表
- [1990] 日本地質学会北海道支部報、[1]、45-46。
- [1991] 穂別町立博物館研究報告、[7]、9-14。(紀藤典夫 共著)
- [1994] 穂別町立博物館研究報告、[10]、39-54。

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)が別資料の研究継続

公表論文・講演：

- [1999] 日本地質学会北海道支部1998年度総会・例会(札幌)口頭発表
- [1999] 穂別町立博物館研究報告、[15]、53-66。(地徳 力・渋谷直憲 共著)
- [1999] 日本地質学会第106年学術大会(名古屋)口頭発表

【サ メ】

久家直之(ジオサイエンス株式会社)に研究委託

公表論文・講演：

- [1985] 穂別町立博物館研究報告、[1]、33-36。

【翼 竜】(遠別町産)

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1994] 日本地質学会北海道支部総会講演
- [1996] 穂別町立博物館研究報告、[12]、17-22。

## II その他の研究

【穂別の地質】

川上 源太郎(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1995] 穂別町立博物館研究報告、[11]、17-28。
- [1997] 穂別町立博物館研究報告、[13]、27-42。

【理科教育】

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)・地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1998] 日本地質学会第105年年会(松本)口頭発表
- 櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)

公表論文・講演：

- [2000] 日本地質学会第107年年会(島根)ポスター発表(共同発表)
- [2001] 日本地質学会北海道支部2000年度総会・例会(札幌)口頭発表

【博物館活動】

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1989] 穂別町立博物館研究報告、[5]、33-42。
- [1995] 穂別町立博物館研究報告、[11]、29-36。
- [1995] 穂別町立博物館研究報告、[11]、37-46。

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)

公表論文・講演：

- [2000] 穂別町立博物館研究報告、[16]、9-28。
- [2000] 穂別町立博物館研究報告、[16]、29-40。

## III 刊行物

【穂別町立博物館研究報告】

第17号、10頁：平成14(2002)年3月30日発行

<掲載論文>

新井田 清信：北海道中軸帯南部の東西地質断面「穂別-岩知志-幌尻岳」. p. 1-10.

【穂別町立博物館館報】

第18号、16頁：平成14(2002)年3月発行

#### IV 学会・大会・研修会等への参加

##### 【学会・研修会等】

###### [日本地質学会]

平成13(2001)年9月20日～24日：

日本地質学会第108年年会・学術大会（金沢市）

###### [研修会]（国立科学博物館・全国科学博物館協議会）

平成13年(2001)年10月21日～26日：

平成13年度学芸員専門研修アドバンスト・コース  
（東京都）

##### 【博物館協会等の大会・研修会等】

###### [北海道博物館協会]

平成13(2001)年7月18日～19日：

北海道博物館協会大会（倶知安町）

平成13(2001)年8月29日～30日：

学芸職員部会研修会（平取町）

平成13(2001)年10月25日～26日：

ミュージアム・マネジメント研修会（伊達市）

###### [日胆地区博物館等連絡協議会]

平成13(2001)年5月31日：

日胆博協役員会・館長等会議（苫小牧市）

平成13(2001)年6月20日～21日：

日胆博協総会（苫小牧市）

平成13(2001)年2月8日：

日胆博協役員会・館長等会議（穂別町立博物館）

###### [その他研修会]

平成13年(2001)年3月14日～15日：

北海道開拓記念館学芸研修講座「資料の分類と整理」（札幌市）

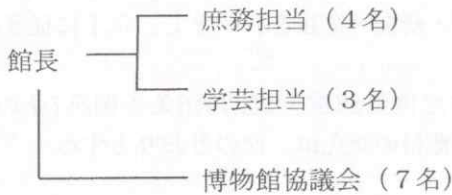


●運 営

I 行事等

- 平成13(2001)年4月：  
 20日：穂別町立博物館協力会 役員会  
 27日：穂別町立博物館協力会 総会
- 平成13(2001)年8月：  
 27日：日本百名山写真展（特別展示室にて）  
 （～9月8日）
- 平成13(2001)年11月：  
 6日：札幌大学 博物館実習受入（～15日）
- 平成14(2003)年2月：  
 28日：展示室大掃除
- 平成14(2003)年3月：  
 19日：博物館協議会

II 組 織



博物館協議会委員(平成14(2002)年3月31日現在)

- 会 長 北 倉 了 一  
 副会長 村 上 隆  
 委 員 小石川 武 美  
 委 員 荒 木 新太郎  
 委 員 大久保 玲 子  
 委 員 内 海 由起江  
 委 員 窪 田 敬 一

(任期：平成15(2003)年7月31日まで)

職員名簿(平成14(2002)年3月31日現在)

- 館 長 山 田 正  
 〈管理担当職員〉  
 主 幹 中 井 学  
 臨時職員(受付) 芥 川 紀 子  
 臨時職員(受付) 深 谷 文 子  
 臨時職員(清掃) 多 村 こゆる  
 〈学芸担当職員〉  
 学芸員 櫻 井 和 彦  
 嘱 託(普及員) 伊 藤 あゆ子  
 臨時職員(補助員) 高 橋 義 道

III 利用状況

【常設展示観覧者】

平成13(2001)年4月～平成14(2002)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	1,009	363	1,372	25
5	2,417	934	3,351	25
6	700	1,164	1,864	25
7	1,359	1,387	2,746	31
8	2,654	1,471	4,125	31
9	929	281	1,210	24
10	864	347	1,211	24
11	584	163	747	25
12	35	12	47	24
1	66	9	75	20
2	77	6	83	22
3	360	98	458	25
計	11,054	6,235	17,289	301

(単位：人・日)

## IV 歳入

区分	有料入館者数	使用料
一般	個人	4,263
	団体	755
	割引	5,494
学生	個人	1,547
	団体	2,194
	割引	2,199
使用料計	16,452	2,799,450
諸収入	物品販売代	16,800
	私用電話料	1,348
合計		2,817,598

(単位：人・円)

## V 歳出

費目	決算額
博物館施設管理経費	15,688,891
博物館協議会経費	42,160
博物館普及員経費	5,941,730
博物館協力団体補助金	52,000
博物館前庭造成工事	259,350
博物館費合計	21,984,131

(単位：円)

## VI 利用案内

### 【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

### 【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日、日曜日及び月曜日にあたる場合は火曜日。
- ・館内整理日。
- ・12月31日～1月5日。

\*ただし、7、8月は休まず開館。

### 【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円
***割引	100円	無料

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

\* 学生：小・中学生・高校生

\*\*団体：10人以上

\*\*\*割引：地球体験館との共通利用割引

### 【減免】

「(穂別町立)博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(穂別町立博物館設置条例、第6条)」が「(穂別町)教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる(同条例、第7号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

穂別町立博物館施行規則第6条条例第7条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

#### (教育目的)

1) 穂別町立小・中学校及び北海道穂別高等学校の児童生徒が教育を目的として入館する場合

#### (研究目的)

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

#### (福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第144号)第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

#### (公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合

穂別町立博物館館報 第19号

平成13(2001)年度

発行 2003年3月

発行者 穂別町立博物館

〒054-0211

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

TEL/FAX (01454) 5-3141

<http://www.bekkoame.ne.jp/~hobemus/>

印刷 穂別誠和学園

